

**リンダウ・ノーベル賞受賞者会議派遣事業
第7回会議参加者(4名)アンケート 集計結果**

1. 本事業をどのような経緯で知りましたか。(複数回答可)

JSPSのHP	0	
JSPSのメールマガジン(JSPS Monthly)	0	
JSPSからのメールでの案内	1	<div style="width: 25%; background-color: yellow;"></div>
所属機関からの案内	0	
所属学会のHP、メールマガジン	0	
過去のリンダウ会議参加者からの案内	3	<div style="width: 75%; background-color: yellow;"></div>
日本人研究者からの案内	1	<div style="width: 25%; background-color: yellow;"></div>
外国人研究者からの案内	0	
その他	0	

2-1. リンダウ・ノーベル賞受賞者会への参加は有益でしたか。

はい	4	<div style="width: 100%; background-color: yellow;"></div>
いいえ	0	

2-2. 上記のとおり回答した理由した理由は何ですか。

ノーベル賞受賞者・参加者と密に交流し、知的刺激とネットワーク形成の恩恵を受けることができたから。

新しいネットワークを築くことが出来た。ノーベル賞受賞者から自分の研究へのフィードバックを得ることが出来た。

様々な知見や経験が得られるから。

もっとも影響のある研究を行ってきた人たちのレクチャーを通して、どのような研究をしていくべきかを学び、刺激を受けた。

3. リンダウ・ノーベル賞受賞者会議に参加して、どのような影響がありましたか。(複数回答可)

学術的な視野が広がった。	4	<div style="width: 100%; background-color: yellow;"></div>
通常の国際学会では得られないような助言を受けることができた。	2	<div style="width: 50%; background-color: yellow;"></div>
国際的な場で研究活動を行いたい、という希望が強まった。	3	<div style="width: 75%; background-color: yellow;"></div>
将来、大学や学会等でリーダーとして活躍したい、という希望が強まった。	1	<div style="width: 25%; background-color: yellow;"></div>
共同研究等の持続的な研究交流のパートナーが見つかった。	2	<div style="width: 50%; background-color: yellow;"></div>
自身を研究者として受け入れる研究室が見つかった。	0	
webやメールではなく、顔を合わせた議論や交流の重要性を認識した。	4	<div style="width: 100%; background-color: yellow;"></div>

4. 他の日本人若手研究者にも本事業への参加を勧めたいと思いますか。

はい	4	
いいえ	0	

5-1. 本事業への申請を検討するにあたり、何か懸念事項がありましたか。

1週間という会期が長い

2	
---	---

博士論文の提出予定年度にあたる

0	
---	---

指導教員や直属の上司が本会議参加に協力的でない

0	
---	---

ラボメイトや同僚が本会議参加に協力的でない

0	
---	---

英語能力に自信がない

2	
---	---

研究業績に自信がない

2	
---	---

本会議の知名度が低い

1	
---	---

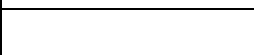
採用されるまでの競争率が高そう

2	
---	---

採用結果が判明する時期が遅い

0	
---	---

その他


0	
---	---

5-2. 上記の懸念事項をどのように乗り越えて申請を決意したかご記入ください。

急に乗り越えることは難しそうだったので、とりあえず申請しようと思った。

所属機関と入念に打ち合わせ、1週間の間仕事が滞らないよう時間をかけて調整した。
英語能力や研究業績は、ないのであればなかりに学ぶものが多かった。

6. 日本人参加者同士の交流の機会は持てましたか。

はい	4	
いいえ	0	